

川合伸幸准教授が日本学術振興会賞と日本学士院学術奨励賞を受賞

本研究科の川合伸幸准教授（メディア科学専攻）が日本学術振興会賞と日本学士院学術奨励賞を受賞しました。

日本学術振興会賞は、優れた研究を進めている若手研究者を早い段階から顕彰してその研究意欲を高め、独創的、先駆的な研究を支援することにより、日本の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的として、日本学術振興会によって平成16年度に創設されました。



日本学士院学術奨励賞は、若手研究者を顕彰して今後の研究を奨励することを目的として、日本学士院によって平成16年に創設されました。受賞者は、日本学術振興会賞受賞者の中から選ばれます。

川合准教授は、知能と適応能力の基盤となる学習・記憶機構について、ヒトのみならず、様々な動物を用いた独創的で革新的な実験手法により、種間（系統発達）と種内（個体発達）の共通点と相違点を明らかにし、「認知と学習の起源」と「進化の産物としてのヒトの心」の解明に向けた、認知科学・比較心理学の発展に寄与する研究成果をもたらしたことが認められました。

<受賞にあたって>

このたびは2つも賞をいただけることになり、まさに光栄の至りです。

名古屋大学という総合研究大学に所属し研究する者として、これで少しの責務を果たせたかと思えます。

とはいえ、「顕彰して、その研究意欲を高め、今後一層の研究を奨励すること」がこの2つの賞の趣旨でありますので、さらに精進したいと思います。

（川合研究室のサイト）

<http://www.cog.human.nagoya-u.ac.jp/~kawai/index.html>

（日本学術振興会のサイト）

http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/ichiran_6th/03_kawai.html

（日本学士院のサイト）

<http://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2010/021201.html>